

● 大人の方へ ●

今日は僕たちの一日です。

01 僕たちはサッカーを思う存分にやろうと喜んでここに来て
います。

02 もちろん誰でも勝ちたいに決まっています。
でも一番大切なことはプレイができるということなのです。

だから、どうか僕たちの思うようにプレイさせてください。

01 ピッチのそばで怒鳴らないで、相手チームや彼らのサポーター
に対してもフェアーベースでいてください。

02 ミスプレイをいちいちなじらないでください。僕たちはしょんぼ
りするだけで、何の役にも立たないですから。

03 同じ時間を練習していれば、同じ時間だけ試合に出れる
チャンスがあります。

以上、よろしくご理解ください。

※ スイスサッカー協会 の少年サッカーより

以上、よろしくご理解ください。

子ども一同

キッズゾーン 大人立ち入り禁止！

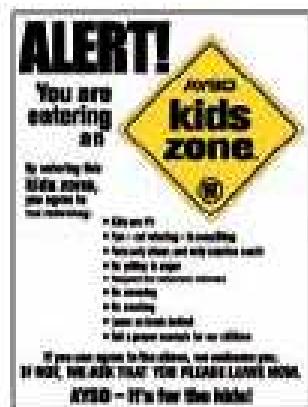
アメリカ キッズゾーン

アメリカには、ユース関連の加盟団体が複数存在しますが、その中のひとつがAmerican Youth Soccer Organization(AYSO)です。AYSOでは、「キッズゾーン」と呼ばれるプログラムを展開しています。これは、近年、ユーススポーツに関わるプレーヤーやコーチ、親のネガティブな行動、暴力行動がメディアに取り上げられることが増えてきたことを受けて、この傾向に歯止めをかけるために開始されたプログラムです。

「キッズゾーン」は、サイドライン上のネガティブな行動を排除することを目的とし、図のようなサインやバッジを使ってキャンペーンを行っています。図のサインには、「注意！あなたはキッズゾーンに立ち入ろうとしています」とあります。

以下の注意書きに従うのであればウェルカム、従えないのであれば、お引き願いたい、という内容になっています。

- ・キッズが NO.1
- ・勝つことでなく楽しみがすべて
- ・ファンは応援するのみ。コーチはコーチに任せる
- ・怒りにまかせてどならない
- ・ボランティアのレフェリーを尊重する
- ・ののしらない
- ・禁煙
- ・帰りにゴミを残さない
- ・子どもによい見本となる



大人のための誓約書や行動規範、また、指導やサポートのためのさまざまな情報が用意されています。

AYSOでは、U-6のゲームのガイドラインには、「順位を記録しないこと、結果を記録しないこと」と明記されています。また、各試合のはじめと終わりに、プレーヤーだけでなく、コーチ、親も握手をすること、とされています。JFAのガイドラインでも、この考え方を採用しています。

こんなクラブ、こんな指導者に出会っていますか？

クラブ

- 01 クラブの指導理念がしっかりとしている
- 02 クラブの指導方針をもっている
- 03 クラブ運営の基本がプレーヤーズファースト※1である
- 04 クラブ・保護者・選手との間でコミュニケーションがとれている
- 05 子どもたちが楽しくプレーできる場がある
- 06 指導者間での考え方があつた

※1 プレーヤーを第一に考えること

コーチ

- 01 子どもが好き
- 02 情熱がある（研究熱心・向上心）
- 03 明るくさわやか（言葉づかい・服装・礼儀正しい・あいさつ）
- 04 忍耐力がある（指導には時間がかかる）
- 05 子どものレベルに自分をコントロールできる
- 06 モラルがある
- 07 デモンストレーション（実際にやってみせること）ができる
- 08 オープンマインド※2である

※2 心を開いて人の意見を聞き入れられること

選手はコーチの鏡です。